

DX・ICTを活用した時間外労働削減、 若手・女性技術者が働きやすい職場づくり



有川氏

渡辺課長代理

取組概要

【デジタル技術などの活用による生産性向上】

- ・ドローンを活用したICT測量による効率化
- ・現場の書類作成やドローン空撮などのサポート業務を行う専門部署（企画開発室）の新設

【日常業務の効率化】

- ・ソフトを用いた、勤怠の一括管理

【多様な働き手確保のための職場環境の改善】

- ・本社に女性専用更衣室及び休憩室を設置

企画開発室課長代理 渡辺 寛斗氏

企画開発室 DX アーキテクト 有川 湧人氏

—書類作成やドローン空撮など、現場のサポート業務を幅広く担う専門部署「企画開発室」を新設されたきっかけを教えてください。

渡辺課長代理： 弊社は官公庁の工事がメインなので、DXやICTが急速に進んでいく環境に対応しないと、時代に取り残されると実感したことがきっかけです。そこで令和4年(2022年)に「企画開発室」を設置し、ドローンの国家資格者を取得しました。

この部署のスタッフが定期的に現場を訪問し、課題や要望を的確に把握することに加え、これまで現場担当者が行っていた書類作成や工事動画制作、地域イベント、現場見学会の企画・開催などを担当し、内製化することが目的です。

—設置後、どのような効果がありましたか？

渡辺課長代理： 様々なサポート業務を企画開発室が一括管理し、着工から竣工まで一貫して支援する体制を構築したことにより、現場管理者の業務負担が軽減され、現場全体の生産性が向上しました。また定期的な現場訪問の際、コンスタントに課題を吸い上げるので、必要な支援を迅速に把握できるようにもなっています。結果として労働時間の是正が進み、ワークライフバランスの改善にもつながっています。

従業員からは「書類作成や測量業務の負担が減り、現場作業に集中できるようになった」「困



ったとき専門部署にすぐ相談できるので安心。残業も減り、家族やプライベートの時間を確保できるようになった」という声が上がっています。

有川さん： 企画開発室には我々二人の他に、現場に出られなくなったベテランの方も所属しています。こういった方たちが活躍する場としても期待されています。

—お2人はドローンの国家資格をお持ちですが、ドローンを活用したICT測量は現場にどのような効果を生んでいますか？

渡辺課長代理： 土量計算や施工計画の検討が効率化され、測量業務のスピードアップと負担軽減につながっています。現場状況の説明や発注者の依頼にもしっかり対応できるので、信頼性の向上にも大きく寄与していると感じます。

有川さん： 企画開発室でドローン空撮とICT測量を一括管理するので、データ整合性の向上

にもつながっています。従業員からも「ドローン測量や書類作成支援のおかげで業務の進め方が楽になった」「発注者への説明もしやすく、分かりやすいと言われることが増えた」と喜ばれています。

渡辺課長代理：ただ、ドローンなどの業務は属人化が大きな課題です。勉強会を開くなど、知識や情報を幅広く共有できるような取り組みも進めています。



ICT 測量に活用するドローン

—このような取組を進めてきて、「こうすれば良かったな」と思う点がありますか？

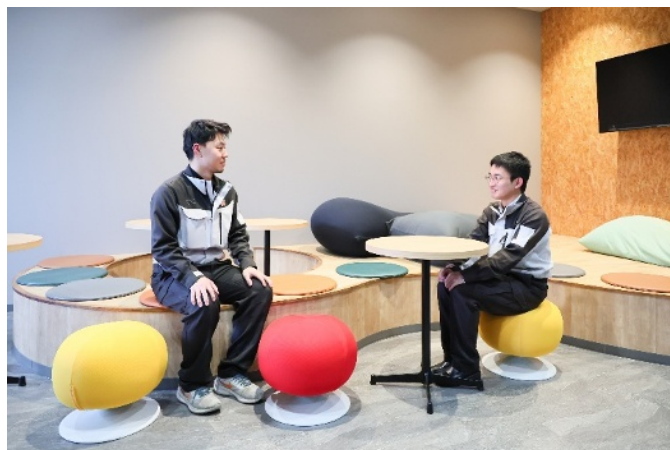
渡辺課長代理：企画開発室は現場のサポートも業務の職域になります。今後は取得予定ですが、事前に「建設ディレクター」の資格を取得し、専門の知識も学んでいた方が、よりスムーズだったかもしれません。

—働きやすい職場環境づくりや時間外労働削減の取り組みが評価され、厚生労働省「ユースエール認定」を取得（北九州市では5社のみ）。この5年間で20代社員が14名入社するなど、会社全体の3分の1以上を若手が占めている状況ですが、その要因とは？

渡辺課長代理：今、働いている若手従業員の満足度が高く、口コミで周りの人や後輩に会社の良さをPRしてくれていることが大きな要因だと考えています。今後は書類の一括管理やサポート業務、勤怠管理などに力を入れ、さらなる生産性の向上と現場の業務負担軽減を目指していきます。

また、4年前に本社を移転した際は女性専用の更衣室や休憩スペースを設置するなど、従業員の要望を取り入れました。現在は女性技術者

も活躍しており、今後も性別を問わず、誰もが働きやすい職場づくりに努めます。



社員用の休憩スペース



女性専用の休憩室なども確保



女性技術者も活躍

株式会社池間組

業種	土木工事、港湾工事
代表者	代表取締役 池間 誠
従業員数	40人
所在地	北九州市若松区童子丸一丁目1-43
HP	https://www.ikema-gumi.com/
電話番号	093-791-1238

